

山 口 大 学

独 仏 文 学

第 44 号

フランツ・ヒンターエーダー＝エムデ教授退任記念号

- Kulturhistorische Aspekte von Johanna Spyris Heidi
..... Franz Hintereder-Emde (1)
- Ôoka Shôhei et *La Belle et la Bête* de Jean Cocteau: une critique lacunaire
..... Michel de Boissieu (25)
- Sur quelques caractéristiques des langues romanes en tant que langues
à cadrage verbal Masashi TAKEMOTO (39)
- ゲルマン語強変化動詞第2種の歴史的変遷(2) 下 崎 正利 (53)

山口大学独仏文学研究会

山 口 大 学

独 仏 文 学

第 44 号

フランツ・ヒンターエーダー＝エムデ教授退任記念号

山口大学独仏文学研究会

2022



フランツ・ヒンターエーダー＝エムデ先生近影

山口大学独仏文学研究会会則

- 第1条 本会は山口大学独仏文学研究会と称する。
- 第2条 本会は、正会員、名誉会員および準会員によって構成する。
1. 正会員とは本学の独語学独文学・仏語学仏文学の専任教員で、本会の趣旨に賛同する者をいう。
 2. 名誉会員とは本会の正会員として定年退職した者および転出時に10年以上本会の正会員であった者をいう。
 3. 準会員とは独語学独文学・仏語学仏文学の研究者で、本会の趣旨に賛同し、本会が認めた者をいう。
- 第3条 本会は独語学独文学・仏語学仏文学の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 毎年総会および研究会・合評会を行う。
 2. 毎年1回会誌「山口大学独仏文学」を発行する。
- 第5条 本会誌は独語学独文学・仏語学仏文学に関する論文、書評、翻訳、研究ノート・資料、随筆を掲載する。
- 第6条 本会誌の編集には会員の互選による2名の委員があたり、会計も兼ねるものとする。その任期は1年とする。また年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第7条 編集委員の招集する総会では会計報告、次期編集委員選出、次期本会誌の執筆申し込み期日の決定等を行うものとする。
- 第8条 会員は会費を均等に負担するものとする。ただし、名誉会員および準会員は、本人の論文等が本会誌に掲載された年度のみ会費を均等に負担する。
- 第9条 規約の変更は会員の賛同のもとに総会で行うものとする。
- 附則 この会則は、平成24年度より改正施行する。

(申し合わせ)

1. 原稿執筆枚数を400字詰め原稿用紙100枚までとする。従来のように、本会誌頁21頁まで（ほぼ50枚）は均等負担とするが、それを超える超過分については自己負担とする。
2. 準会員と成りうるのは、原則として本学の独語学独文学・仏語学仏文学の非常勤講師とする。現在・過去は問わない。
3. 名誉会員および準会員には、編集委員や総会出席等の義務はない。
4. 論文に関しては編集委員が依頼する主査と副査が査読を行い、その審査報告に基づいて編集委員会が採否を決定する。編集委員会は改稿を求めることがある。（令和元年6月7日、メール審議により了承、令和2年2月21日、総会にて修正された事項。）

会 員 名 簿

正会員

ドイツ語学・ドイツ文学

○下 寄 正利 (人文学部)

フランツ・ヒンターエーダー＝エムデ (人文学部)

フランス語学・フランス文学

○武 本 雅嗣 (人文学部)

ミシェル・ド・ボワシュ (人文学部)

名誉会員

ドイツ語学・ドイツ文学

岡 光 一浩

小 粥 良

フェリツィタス・ドーブラ

中 尾 光延

本 田 義昭

松 尾 誠之

米 澤 充

渡 辺 信生

フランス語学・フランス文学

末 松 壽

平 山 豊

準会員

フランス語学・フランス文学

ジャン＝クロード・ボシール

五十音順による。○は編集委員。

編集後記

今年度末で、本会員のヒンターエーダー＝エムデ・フランツ先生が定年退職されます。エムデ先生は、昭和63年6月に本学に着任して以来、教養部において7年10ヶ月、人文学部において27年、計34年10ヶ月にわたって、ドイツ語・ドイツ文学・比較文学の教員として教育・研究に寄与されました。

研究者としては、主として日独の比較文学、なかでも夏目漱石や能やグリム童話の研究の分野において優れた業績をあげてられました。ドイツ語だけでなく日本語でも英語でも学会誌や共著書に論文を執筆され、また国際学会でも研究発表されて、国内外の研究者に大きな影響を与えられました。また、大学人としては、人文学部異文化交流施設の交流部門長を務めたり、エアランゲン大学との学術・学生交流協定の締結に尽力されたりして、人文学部だけでなく全学的な国際交流にも多大な貢献をされました。このように、極めて大きな功績を残されたエムデ先生には名誉教授の称号が授与されることが決定しています。

我々の所属する講座は、エムデ先生の知性とお人柄のおかげでうまくまとまっていたことはまちがいありません。これまで様々な面で我々同僚を助けてくださいました。誠に感謝の念に堪えません。心からお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

(文責：武本雅嗣)

査読者（敬称略）

黒沢 宏和（近畿大学法学部教授）
武本 雅嗣（山口大学独仏文学研究会正会員、山口大学人文学部准教授）
Andreas Riessland（南山大学准教授）
Stefan Buchenberger（神奈川大学教授）
Jean-Claude Beausir（山口大学独仏文学研究会準会員）
Michel de Boissieu（山口大学独仏文学研究会正会員、山口大学人文学部教授）
Loïc Renoud（岡山大学文学部准教授）

令和4年12月25日

発行者 〒753-8540 山口県山口市吉田1667-1
山口大学人文学部内
独仏文学研究会
印刷所 〒759-0204 山口県宇部市妻崎開作1953-8
有限会社 三共印刷

YAMAGUCHI DAIGAKU
DOKUFUTSU BUNGA KU

No. 44 (2022)

Zum Gedenken an die Emeritierung von Prof. Franz Hintereder-Emde

INHALT – TABLE DES MATIÈRES

- Kulturhistorische Aspekte von Johanna Spyris Heidi
..... Franz Hintereder-Emde (1)
- Ôoka Shôhei et *La Belle et la Bête* de Jean Cocteau: une critique lacunaire
..... Michel de Boissieu (25)
- Sur quelques caractéristiques des langues romanes en tant que langues
à cadrage verbal Masashi TAKEMOTO (39)
- Der historische Wandel der 2. Klasse der germanischen starken Verben (2)
..... Masatoshi SHIMOZAKI (53)

YAMAGUCHI DAIGAKU
DOKUFUTSU BUNGA KU KENKYUKAI

ISSN 0387 – 6918